



# あれは、 どうなったあ～



NO. 3

★以前に一般質問や委員会などで行政側から「今後の検討課題」との回答だったものが、その後どうなったか追跡し、さらに住民の方へお知らせしていくページ。

## 町の防災、これまでと今から

- H18～23年で地域自主防災組織結成100% 達成
- H22～ 幼、小、中学校耐震化工事継続中
- 防災リーダーの育成、住民の防災意識向上に向けて防災マップの配布、地域防災訓練の実施

追跡 No.2でレポート済み



### H23・3・11 東日本大震災勃発 死者、行方不明合わせて2万人超

時 期	議会からの質問内容	行政側の対応
23・6	①M9クラスの地震でも減災でき原発対策も入った防災計画を ②液状化ハザードマップの作成を	①地域防災計画の大幅な見直し 原発対策も新計画に盛り込む 意見交換の場を持ちたい ②自主防災会連合会の勉強会を開催 (テーマは液状化問題) ③標高差の表示を考えている
23・9	③津波予想の見える化として (校舎、電柱に浸水表示は、海拔表示は) (指定避難場所へのわかりやすい誘導表示を) ④行政からの迅速で正確な情報発信は	④ NTT ドコモと協定、エリアメールの開始、 災害 FM 局の開設は今後検討 ⑤学校施設の避難所としての機能強化とバリアフリー化の事業を順次実施 ⑥移動系防災無線を増設配備 防災カード各戸配布
23・12 24 }\ 25・3	⑤小中学校の校舎本体だけでなく備蓄倉庫や屋外便所などの機能強化を ⑥防災無線配備ほか、防災事業の強化を	

### 24・3 防災担当の副町長が誕生

防災対策プロジェクトチーム課題・対策会議 … 計40回  
災害に強い町を作る会の発足 … 企業関係者、住民など19名で構成  
(24・11～25・2) 6回の審議を経て、指針まとまる

### H25.4～ 防災協力農地の登録募集始まる 小中学校で各自にヘルメット配布

南海トラフ大地震の最大被害想定が発表されて  
さらに見直しが必要となる

#### ★今後の課題

- 公民館、保育所などの耐震化は
- 議会は、防災体制のどのポジションに
- 防災道路と防波堤（県事業）の計画は

